

事業コード	H22-建-新-05		区 分	国庫補助	県単独
事業名	地方道路交付金事業費(改築)		部局課室名	建設交通部 道路課	
事業種別	橋梁架替		班 名	調整・企画管理班 (tel) 018-860-2485	
路線名等	主要地方道 角館六郷線		担当課長名	大塚 行雄	
箇所名	大仙市中仙町		担当者名	佐藤 秀治	
総合計画との関連	政策コード	17	政 策 名	新たな生活圏の創造	
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通の整備	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	県道の整備推進	

## 1. 事業の概要

事業期間	H23 ~ H27 (5年)		総事業費	7.1億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長L=570.7m、幅員W=6.0(11.0)m (2.50+1.25+3.00+3.00+1.25)、橋梁架替1橋L=127.5m						
事業の立案に至る背景	<p>主要地方道角館六郷線は、仙北市と美郷町を結び主要幹線道路であり、地域間交流はもちろん周辺住民の生活に欠かせない重要な路線である。斉内川橋は、角館六郷線が斉内川を渡るためS40.11の架設され4径間単純ポステンPC単純T桁で設計荷重T-14の橋梁である。</p> <p>架設後45年が経過し、上下部それぞれのコンクリートの劣化や損傷が激しく、補修・補強による対策工も検討したが、近年の交通量の増加と車両の大型化による橋への負担が大きいの調査結果から、上流側に新たに新橋を架けることにより地域住民の生活路線確保するため、新規箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>老朽橋対策 重交通対応(T-14 B活荷重(T-25相当)) 緊急輸送道路としての機能確保</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度以降
	事業費		707,000	40,000	118,000	236,000	313,000
	経費 内訳	工事費	639,900	1,000	113,600	226,000	299,300
		用補費	14,000	14,000			
		その他	53,100	25,000	4,400	10,000	13,700
	財源 内訳	国庫補助	494,900	28,000	82,600	165,200	219,100
		県 債	201,400	11,400	33,600	67,200	89,200
その他							
一般財源		10,700	600	1,800	3,600	4,700	
事業内容			道路土工、地質調査、橋梁詳細設計、用地補償	道路土工、橋梁下部工	橋梁下部工、上部工製作、	舗装工、上部工製作・仮設、旧橋撤去	
調査経緯	<p>H20 橋梁架替検討業務 H21 橋梁予備設計</p>						
上位計画での位置付け	ふるさと秋田元気創造プランの「社会資本整備」を推進する事業						
関連プロジェクト等	大仙市都市計画マスタープラン 歩道新設工事(H23~伊勢堂工区、~H21国見工区、小荒川工区)						
事業を取り巻く情勢の変化	<p>設計荷重がT-14で現在の大型車両に対する耐力に限界があり、現在の構造で補強するには困難である。</p> <p>全幅で6.0mしかないため、大型車両とのすれ違いが困難である。</p> <p>橋梁長寿命化修繕計画で損傷度が最も著しいレベルと判断されている。</p>						
事業効率把握の手法	指 標 名	橋梁長寿命化修繕計画					
	指 標 式	対策済み橋梁 / 要対策橋梁					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	16 橋		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	22 橋					
達成率 b/a	137 %		把握の時期	平成22年 7月			

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	現在の橋梁の劣化が著しい(コンクリートの劣化、PC鋼材の破断等) 全幅で6.0mしかないため、大型車両とのすれ違いが困難である。 通行規制の必要が生じた場合、長い迂回路の通行を強いられる。 小学校の統廃合の計画があり、当地区にも歩道設置の要望もでている。	26 点
緊 急 性	各部分にコンクリートのひび割れや欠損がみられることや、上部工のPC鋼材の一部に破断がみられることから早急な対応が必要である。 橋梁長寿命化修繕計画で損傷度が最も著しいレベルと判断されている。	15 点
有 効 性	耐震化が図られることで安全な橋梁として通行できる。 十分な幅員が確保されることから走行性が向上する。 第二次救急医療施設である角館総合病院へのアクセス道路である。 歩道の設置により歩行者の安全が確保される。	15 点
効 率 性	上流側に新橋を架設し開通させた後に、旧橋を撤去することで仮橋にかかる経費を抑えることとしている。	15 点
熟 度	橋梁長寿命化修繕計画で損傷度が最も著しいレベルと判断されている。 市から歩道の設置を含めた橋梁整備の要望が出ている。	15 点
判 定	ランク ( )	86 点
	ランク1であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>評価結果から事業実施箇所としての優先度は高く、事業は実施すべきである。</p>	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定	改善して選定	保留
<p>当該箇所は、橋梁架設45年が経過し、劣化・損傷が著しく、橋梁長寿命化修繕計画でも損傷度がもっとも著しいレベルと判断されている。このため、交通安全性確保の観点から、整備の必要性及び緊急性は高く、事業の実施は妥当と判断される。</p>			

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定	改善して選定	保留
<p>本橋梁は、コンクリートの劣化や、PC鋼材の破断等により、このまま放置すれば、崩壊の可能性もあるため、事業実施の優先度は高い。仮橋を設けず、隣接地に新橋を設けることで、事業費を縮減し、かつ幅員も拡張できることから、妥当である。</p>			

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定	改善して選定	保留
<p>事業の実施は妥当である。</p>			

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

<p>事業箇所を国に新規要望する。</p>
-----------------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

<p>県の対応方針を「可」とする。</p>
-----------------------

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H22-建-新-05)

適用基準名 道路改築事業(地域内・生活圏交通促進)

箇所名 (大仙市中仙町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	25	20	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	20		
	・最小半径 < 100m	1箇所	15		
	・最急勾配 > 5%	0箇所	0		
	・冬期堆雪巾なし	5件該当	15		
	道路環境上の欠陥該当項目	4件該当	12		
	・現道の混雑度 1.0	3件該当	9		
	・現道の旅行速度 30km/h	2件該当	6		
	・現道の事故率 50件	1件該当	3		
・通学路指定で歩道なし	該当項目なし	0			
・重大交通事故が発生					
計			40	26	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	4	4	
	・県の主要プロジェクト				
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3		
		位置づけなし	0		
交通量	増加している	3			
	増加していない	0			
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計			15	15	
有効性	道路の位置づけ				
	生活圏30分形成道路等	該当する	5	5	
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	5		
		該当しない	0		
地域防災計画上重要な道路	該当する	5			
	該当しない	0			
計			15	15	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.0以上	8	8	
		0.5以上1.0未満	5		
		0.5未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	7		
		500台/日以上1,000台日/未満	5		
	300台/日以上500台日/未満	3			
	300台/日未満	0			
計			15	15	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	5	5	
		口頭要望あり	3		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	5		
	用地反対	0			
地元への方針説明	あり	5	5		
	なし	0			
計			15	15	
合計			100	86	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		